八郷町消防団の春季点検　（柿岡中学校庭）

今年の教育運営方針

学校教育とともに社会教育を重視

教育委員会は、町の教育をよくするために、今年の教育運営方針を次のようにきめてその実現につとめることにしている。

一、教育委員会の機能を強化する

1, 事務局の職員を増員して、事務能率をあげるようにする。

2, 学校教育の指導と視察、学校建築五ヶ年計画の実行、社会教育の強力な推進などに一そう力を入れる。

二、先生たちの勤務体制を確立し、研究を盛んにする

1, 教職員配置の適正化をはかる。

2, 先生がたの勤務精神を昂揚する。とくに学校長不在のときには必ず教頭が在校するようにつとめる。

3, 各種研究会や一人一研究などを一そう盛んにして、先生の実力をたかめる。

三、教育財政を確立する

町当局の健全財政の確立方針に協力しながら教育財政の確立につとめる。

四、学校管理の合理化につとめる

1, 校舎は五ヶ年計画によつて年間五〇〇万円の予算で整備する。その他の設備は各学校の年次計画によつて充実につとめる。

2, 完全就学に努力する。

3, 産業教育の設備は、各学校の実情に応じた年次計画をたてて、だんだんその整備につとめる。

4, 理科教育の設備は、理振法により補助をうける学校を中心に、年次計画で整備につとめる。

5, 学校事務の合理化を工夫し教育にさしさわらないようつとめる。

6, 保健体育施設は、予算が少ないから創意と工夫で、だんだんに充実をはかる。

五、教育の内容をよくする

1, 教科課程は指導要領を再検討して、改善と研究につとめる。社会科はとくに研究して、あやまりのないようにつとめる。

2, 校内相互研究会などをたびたび開いて、独善におちいらないよう常に指導技術の改善と向上に努力する。

3, 生活指導を強化する。

4, 学校図書館は、実験学校を中心に更に研究をつづけ、運営の強化をはかる。

5, 理科教育は実験学校を指定して振興をはかる。

6, 産業教育の振興、実験学校の指定により振興をはかる

7, 共同施設等の研究によつて視聴覚教具を整備活用し、その向上をはかる。

六、学校の適正配置の検討とその促進をはかる

七、高等学校の誘致

本年度を準備期間として、明年四月一日より発足する。

八、社会教育の振興

1, 公民館の施設と設備の強化公民館専任職員の配置、公民館役職員の研修などを行つて、公民館活動を強化推進する。

2, 青年学級、成人学級、新生活学級などの開設によつて青少年及び成人教育を振興する。

3, 社会教育専任主事をおき、研修会を開催するなどで、社会教育関係団体の育成と発展をはかる。

4, 各種スポーツの普及、健全娯楽の奨励、文化祭の実施など文化の保全と振興をはかる。

5, 視聴覚による教育を有効にとりあげて、社会教育の振興をはかる。

郷広報

4月号

八郷町役場

人口と戸数（3月末）

世帯数		5,736
人口	男	16,234
	女	16,965
	計	33,199

瓦会地区の交換分合終る

去る一月下旬着手した瓦会地区の第二次交換分合は、計画委員長中島邦治氏（部原）らを中心にすゝめられていたが四月十七日完了した。

関係耕地面積一九五町、動かした耕地三九町。これでこの地区は、全地区耕地の集団化を一応完了した。

飼料の購入にご注意!!

まず農林省の保証票を見て

国は市販に出まわつている飼料の品質をよくするため、「飼料の品質改善に関する法律」をだして、飼料中にある成分が、製造業者のいうだけはいつているかどうかを検査して、合格したものを農林省に登録して、登録番号を交付することになつています。

飼料袋の表面や中に、保証票として登録番号がついているものは、農林省がその飼料の成分を保証したもので、まづ安心してつかつてよいものといゝます。

「か」と「はえ」の居ない部落に

小屋部落を衛生モデル部落に指定

芦穂地区小屋部落では、新農村建設計画実行の手はじめに、部落の人々の自発的な協力で、健康部落を建設しようということになつたので、町ではその熱意にうごかされ衛生モデル地区に指定、石岡保健所の協力をもとめて助言と指導をすることになつた。

去る四月二十二日の春季清掃法の日には、全部落あげて徹底的な清掃を実施したが、町でも保健所員の協力をえた指導班をくり出し、男女青年で編成した五班の清掃班を指導し、才一回の薬剤撒布を実施した。

この部落は、これから次のような保健衛生の改善を実行しようとしているが、費用はいくらかかつてもみんなで出し合おうと意気ごんでおり、その成果が期待される。

改善しようとする事項

❶排水道の改善　❷便所、畜舎、汚水溜などの薬剤撒布による消毒　❸家庭内の清掃整理の改善　❹国保運営の強化　❺計画出産　❻伝染病の予防接種と結核対策　❼検便の実施と寄生虫の駆除　❽有害こん虫（ノミ、カ、ハエ）の一斉駆除　❾諸種調査と検査の実施など。

保険で医者にかゝるときの注意

◎保険にはいつている人が医者にかかるときには、必ず受診証をさし出して下さい。

◎もし医者が保険医でないとき、またはこちらが受診証をもつていかなかつたときは、次のようにして下さい。

❶診療費の全額を支払つて、きまつた様式の診療報酬請求書（領収したと明記したもの）をもらう。もし用紙が医者にないときは、役場または支所よりもらつていつて書いてもらう。

❷その請求明細書と認印とをもつて、役場または支所の窓口で療養費をうける手づゞきをとる。

改良カマドの見本役場構内に展示

県で奨励している改良カマドの見本三つ（酒井式、偕楽式、東亜カマド）が、役場構内に展示されていますから、いつでも自由にごらん下さい。くわしく説明をききたい方は、改良相談所の田上生活改善普及員に申出て下さい。

お米配給所の登録変更

毎年消費者は、自由意志により配給所を替えることができます。

配給所を替えたいと希望する方は、左記期間内に主食購入通帳と印鑑持参の上、役場内経済課または各支所配給係窓口に申し出て下さい。

五月十五日から十七日までの三日間

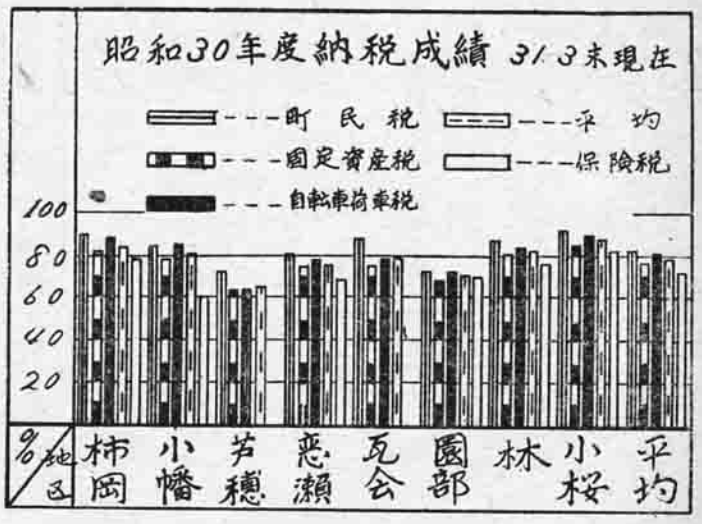
編集室より

◇この頃、建設的な意見がたくさんよせられますが、中に匿名があり、あつかいにくくこまつています。紙上匿名は希望をいれますが、原稿には必ず住所、氏名、年令を書いて下さい。

◇せつかくの寄稿が紙面の都合でのせられなかつたり、一部をきりつめたりすることがあります。御諒承下さい。

改良相談所主任異動

久保庭主任は竜ケ崎地区主任に栄転、後任は石岡地区主任の土田長氏が赴任された。



納税組合がよくできている地区は、納税成績も良好です。
町が30年度に納税組合にだした諸奨励金は約226万円で、1組合平均約5,500円になります。

五月の農作業

◎水稲苗代管理

水苗代は保温が大切で、一度でも高くするよう工夫しよう。気温の低いときは深水にして温度を上げる。しかしいつも深水にしておくと、ころび苗や浮苗が多くなるから、なるべく晴天の日中は落水し夕方灌水するよう水のかけひきに注意する。

本田に発生する病害は苗代から持ちこまれる事が極めて多いから、苗代時に病虫害の防除をするかしないかは作柄に大きく影響します。苗イモチ病は窒素肥料が多すぎると発生しやすいので、肥料の配合を適正にすることです。

薬剤撒布は坪当り二合位六斗式過石灰ボルドー液を撒布するかまたはセレサン石灰を坪当り一〇瓦の割合で、均一に撒布するもよい。またイネアブラムシ、キリウジ、螟虫、トロオイ虫、ヒメトビウンカには、BHC三%粉剤を坪当り一〇瓦を五～七日おきに二～三回まいてもよい。またホリドール乳剤の二千倍液は効果的である。苗代用薬剤に対しては、役場で無償交付される予定である。

◎麦

気温の上昇と共に銹病、ウドンコ病が蔓延するから、薬剤撒布は必ずやろう。薬剤は石灰硫黄合剤五〇～八〇倍液を反当り一石～一石二斗位を二回位撒布する。

◎大豆

大豆の播種は、麦類の畦間にまく場合が多いので、一般に遅れがちになるが、大豆は麦の中で少し伸び過ぎても、早播きの方が収量が上るから、おくれないことが大切である。上旬にまいた大豆は、下旬には才一回の培土をする。株元から新しい根が出るが最も多く出る時期は、まいてから四週間位だからおくれないようにする。大豆を捨作り的な作物と考えがちだが、早播、疎植、多肥で栽培してみよう。

社会を明るくする

社會福祉協議會の結成準備すすむ

町の社会福祉関係者のあいだで、社会福祉協議会の結成準備を進めていたが、去る四月二十八日、柿岡公民館で設立準備会をひらき、会則、予算案、会員募集範囲などを打合せ、五月四日設立総会をひらくことになつた。

社会福祉協議会とは

○私どものまわりには

私どもの部落を町をしづかになかめて見るとき、貧困でその日のくらしに困つている人、病気や身体の障害で仕事ができず、その上充分な治療のできない人、多くの子供をかかえて夫に先だたれ、その日のくらしに心もからだも疲れはてている母子世帯の人々や、戦争のぎせいによつて生活に苦労をしている遺族、留守家族、戦争未亡人、戦争傷病者の人々、年老いて身よりのない老人、又は罪を犯したり、ヒロポン患者などになつている問題の青少年をはじめその他数多くの社会を暗くしていることが、随所に発見される。

こうした不幸な人々に対しては、国が福祉事務所を通じて、所謂福祉三法（生活保護法、児童福祉法、身体障害者福祉法）で援護してはいるがこれで救われる人はほんの一部で、困つている人の大部分はやはり不幸のまま放任されて生活苦にあえいでいるのである。

くらしにくくなつた今日、こうした人々に対して速かに温い手をさしのべて援護しなければ、犯罪は日に日に増加し、社会はますます暗くなるばかりである。

ここに私どもは、法律の援護では不充分な点を、お互の扶助において補い、不幸な人々を援護し（法外援護）少しでも地域社会を明るい住みよいところに造り上げねばならないと思う。

その仕事をするのが、即ち社会福祉協議会であり、その設置は一日もゆるがせにすることはできない。

○社会福祉協議会とは

これらの困つている人々、社会の病悪などを町村長、民生委員（児童委員）保護司、社会事業家、医師、農協、商工会、PTA、青年団、婦人会、宗教家、保健婦、共同募金委員、その他社会福祉の増進に関心をもつている人々が互に心を合せ手をとりあつて相談し、比較的経費のかからなくて、手つとりばやく解決できる問題から、一つ一つ片つけていくのが社会福祉協議会のしごとである。

無論前にあげた人々や機関団体は、各々その立場において、その使命に向つて活動はしているが、多くの場合その活動がばらばらになつていて全体の連絡協調が十分に出来ていないのが、いかんながら現在の状況である。

これらの人々や機関が、互に連絡協調して、各々がその使命とする仕事が容易に、能率的に出来るように調整をはかるのも社会福祉協議会の大きな仕事である。

社会福祉協議会を作ると、外の機関や団体は、その存在の理由がなくなるように思つている人もあるようだが、これはとんでもない誤解で、協議会を作ることによつて、却つて各種機関や団体の仕事が活潑に行われるのである。

瓦谷に建つた たばこ記念碑

去る四月十六日、茨城県たばこ耕作組合の手でたてられた茨城黄色種創始記念碑の除幕式が行はれた茨城の黄色種は、今では全国第二位の生産量をほこつているが、それは今から二十五年前、この瓦谷の篤農家 石田通三郎、藤井清三、広沢菊太郎三氏が、水戸専売局の委嘱をうけて、試作をしたのにはじまり、八郷町は茨城米葉の発祥地である。

この記念碑は瓦谷郵便局わきの日笠神社の境内にたてられた。（**写真は除幕式**）

青年会と社会教育

八郷町教委事務局

青年会の立場について、青年諸君の間に検討が加えられていることは、青年会発展のためよろこばしい事なので、私どもの考え方ものべて参考に供したいと思う。

青年会は、婦人会、PTAなどと同様、社会教育関係団体であるが、青年会活動と町村で行う社会教育活動とを混同してはなりません。

両者には、つぎのようなちがいがあります。

❶本　質　青年会の主たる目的は、自己の修養即ち社会人としての実際生活の知識と技能の修得にあるが、町の社会教育は公民館を中心として行われ、町民の教養健康の増進、情操の純化などを目的とします。即ち青年会活動は自分たちのための活動であり、町の社会教育活動は町民のための活動です。

❷責　任　したがつて青年会活動は、あくまで自己の責任で運営される自治的な団体活動ですが、社会教育は町の責任で行われるものであつて、社会教育法はその任務と限界をはつきり規定しているのです。即ち青年会活動には、教育委員会の指導と助言は行われるが指揮命令はできず、社会教育には町の考えが滲透しますから、青年会本来の活動と社会教育活動とは違うと云う点について、わたしたちはこの解釋に**大きな疑問**をいだきます。社会教育法才十条にはつきりと定義されている通り、私たちの団体（青年会）は、社会教育に関する事業を行うことを明記していますし、もし仮に青年会が社会教育関係団体でないとしたらどの団体が社会教育に関係の団体であるかと云うことになります。もしも青年会が社会教育法にふれないとしたら、私たちの今まで苦しんできた地方自治体からの助成金も何等法的にしばられることなく安々と受けることができるわけです。それが現在も尚法のことが種々問題になつている現状はどう解釋すればよいのでしょうか？…青年会が社会教育関係団体である以上、社会教育活動を行うのは当然のことであるとわたしたちは解釋するわけです。

だからと云つてわたしたちは政治のことなどにばかりロだしをして、どうのこうの云いたいのではありませんが、やはり現在の青年をとりまく周囲を考えますと、あくまでも青年としての態度で、**ある程度までは政治についても考えなければならない**のです。

以上のことを種々綜合して考えます時、わたしたちは話し合いが足りないために、お互が実情を**はあく**されていない事に気づきこれらを打解するために、わたしたちは進んで町民のみなさん方と語り合つて、それ〳〵の立場を認識し合いほんとうにまじめな気持で、これからの生活をどうするかと云うことを考えてゆきたいと念願致しているわけです。

（文責　松崎）

私たちの立場

八郷町連青会事務局

八郷広報二月号所載の「青年に訴う」の文大へんありがたく拝見致しました。わたしたちもつねにどうすれば同じ環境の中にある町民のみなさんと、わたしたち青年とが、お互にとけ合い理解し合つて職業のこと、町の発展のこと国の政治のこと、ひとつひとつを**まじめに考え合い語り合う**ことができるだらうかと云うことについて考え、話し合つていますので、青年に訴うを基にして、以下二、三の点について述べてみたいと思います。

在の青年に欠けている自己の活動資金を勤労及至事業によつて生み出すこと、それにつながる奉仕の精神、困難を不可能視する考え、改革的情熱の不足等の点は全くその通りであります。

だが、それらのことをそのまゝ肯定する前に、表面のみでなくその裏にひそむ点、即ち青年のおかれている環境について考えなければならないと思います。

それにはまずこの町の大部分を占める農家のひとの生活を考えなければなりません。一日中寸暇を惜しんで労働をすることのため、夜は休養の時間とするわけです。明日の労力を少しでも養なうためには、本をよむことも、新聞さえも見出しの拾い読みと小説と三面記事くらいがせいゞラヂオは天気予報をきいて、三つの歌か浪曲でもないと「今夜は寝よう」と云うことになるのが現状です。勿論わたしたち青年もこの環境の中に生活しているわけです。

このことに関連して、これら生活の根底にひそむ農家経済のことも考えなければなりません。平均耕地が一町歩未満の狭さの中に、六人七人の家族をかかえ、その中にある二、三男の生活の問題を考えただけでも、私たちの目前は暗たんたるものであります。

経済の苦しいと云うことは**男子の青年学級に最もはつきり現われています**。昼間講座の低位な出席率、その出席者も目先に役立ち明日からの生活にプラスにならないと集らないのです。勿論青年も現在と同時に将来を考えなければならないことは知つていますが、十年先よりも今日、明日よりも今日の生活を考えなければならないのです。だから青年学級に出席できるものはまだよいのです。今日働いたことがすぐ現金としてあらわれる出稼ぎや、土工についてもニコヨンの生活をしなければならないものも数多くあるわけなのです。

青年学級の出席率の問題でもうひとつは**中学校の教育**を考えなければなりません。試作地にしてもあの文の中にある如く、一部においては非常によく経営している学校もありますが、反面校舎の敷地の余りなどを本当に儀礼的に、文字通り試作をしているところも見当りますし、また教科内容にしてもこれと似たりよつたりの事が云えるのではないかと思われます。この事を考える時、わたしたちは中学校が**高校進学のための予備校**であるかの如き現状をできるだけ早く脱皮して、義務教育としての中学校本来の姿にもどつていただきたいことを切望するものであります。そのことにより青年学級へ来るものの学習意欲も向上することになりますから。

それから「青年会本来の活動と社会教育活動とは違う」と云う点について、わたしたちはこの解釋に**大きな疑問**をいだきます。社会教育法才十条にはつきりと定義されている通り、私たちの団体（青年会）は、社会教育に関する事業を行うことを明記していますし、もし仮に青年会が社会教育関係団体でないとしたらどの団体が社会教育に関係の団体であるかと云うことになります。もしも青年会が社会教育法にふれないとしたら、私たちの今まで苦しんできた地方自治体からの助成金も何等法的にしばられることなく安々と受けることができるわけです。それが現在も尚法のことが種々問題になつている現状はどう解釋すればよいのでしょうか？…青年会が社会教育関係団体である以上、社会教育活動を行うのは当然のことであるとわたしたちは解釋するわけです。

だからと云つてわたしたちは政治のことなどにばかりロだしをして、どうのこうの云いたいのではありませんが、やはり現在の青年をとりまく周囲を考えますと、あくまでも青年としての態度で、**ある程度までは政治についても考えなければならない**のです。

以上のことを種々綜合して考えます時、わたしたちは話し合いが足りないために、お互が実情を**はあく**されていない事に気づきこれらを打解するために、わたしたちは進んで町民のみなさん方と語り合つて、それ〳〵の立場を認識し合いほんとうにまじめな気持で、これからの生活をどうするかと云うことを考えてゆきたいと念願致しているわけです。

（文責　松崎）

妙案はありませんか？

この間新農村建設計画の資料としてとつた世論調査をみると、社会生活改善で時間励行を希望する人が圧倒的に多いのです。

だれでもこれでは困ると思いながら、実行されないものの一つが大人の時間励行ですから、社会生活改善の第一着手として、早速実行に入りたいと思います。

だが、これは言うべくして実行困難が予想されますので、妙手、妙案の持ち合せがありましたら、当事務局までご進言下さい。

新農村建設計画事務局

八郷進修会結成

八郷町出身の土浦中学校（現土浦一高）卒業者は、会員相互の親睦をはかることを目的として、八郷進修会を結成した。

会員数は一二一名で、会長には大規町長、副会長に桜井町議会議長、菅谷小桜二小校長が互選され、八地区に幹事をおいて連絡にあたる事となつている。